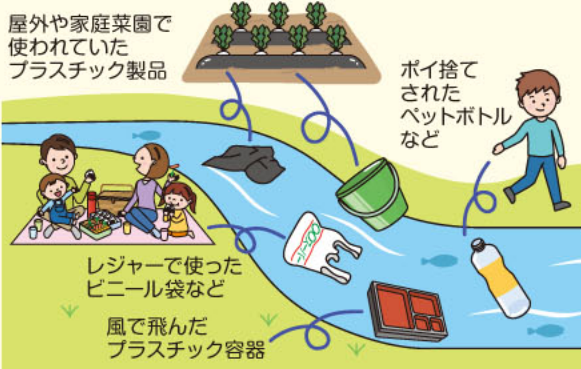


持続可能な社会の実現に向けて

プラスチックごみの削減

プラスチック製品はとても便利で使いやすいですが、燃やすと温室効果ガスが多く排出されてしまい、地球温暖化の一因とされています。

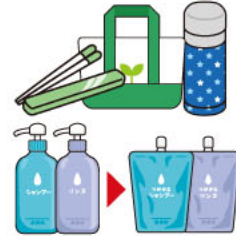
またポイ捨てされたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海洋の環境や生態系にも悪影響を与えています。



どうしても不要になって捨てる際には、プラスチック容器包装類、ペットボトルはしっかり分別し、リサイクルできるようにしましょう。

プラスチックごみを減らすためにできる事

- マイボトル、マイ箸を持参することで使い捨ての容器や食器を減らす。
- シャンプーや洗剤は詰め替えを使い、ボトルを再利用する。
- 買い物の際には簡易包装を利用する。



このまま増えていくと、2050年には海洋プラスチックごみは海の魚の量を上回ると言われているよ。

マイクロプラスチック
5mm以下の小さなプラスチックごみ



プラスチック容器包装類のリサイクルについて

収集されたプラスチック容器包装類は、リサイクルプラザで目視で手選別しリサイクルできない異物を取り除いたのち、圧縮梱包機で固まり(ペール)にしてリサイクル事業者へ引き渡しています。

リサイクル事業者の工場では、以下のように新たな製品に生まれ変わったり、製鉄の工程などで原料として利用されます。

(出典 日本容器包装リサイクル協会ホームページ)



令和5年度から ボトルtoボトルに取り組みます!

令和5年度から、回収したペットボトルの引き渡し先を、使用済みペットボトルを再生ペットボトルとして循環させる、「ボトルtoボトル」事業に取り組む事業者へと変更します。



持続可能な循環型社会の実現へ

リユース(再使用)をしよう

不要品、欲しい人がいませんか

自分にとっては不要でも、誰かが必要としているかも。フリーマーケットやバザーを利用して必要な人に使ってもらおう。



修理やリメイクで長く使おう

壊れてもそのまま捨てるのではなく、修理してできるだけ長く使おう。

